



兄弟を仲良くさせるための良い方法

兄弟の多いご家庭では、兄弟同士のいがみ合いが絶えず、それに頭をかかえているお父さん・お母さんも多いようです。

特に兄弟の中では一番下の“末っ子”がどうしても可愛がられやすく、お父さん・お母さんもついつい世話をやいてしまうみたいですが、そうすると上の兄や姉は「えこひいき」という気持ちをもってしまい、すねてしまうそうです。

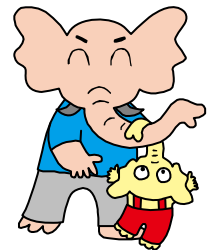


では、兄弟をもっと仲良くさせるための良い方法は何かあるのでしょうか？

兄弟というのは“生まれて最初に出会うライバル”です。なので、お互いに「負けたくない」「自分が可愛がられたい」という思いを持つのは本能的で当たり前のことです。

そのため、兄弟の誰かが親にえこひいきされることがあれば、それにはとても敏感になってしまいます。

これは学校の先生も同じで、子どもたちに一番嫌われるのは「えこひいきをする先生」だそうです。子どもたちは誰もが“自分のことこそよく見てほしい”と思っているのです。



もちろん、お父さん・お母さんにとってはどの子も可愛いわが子であり、そのうちの誰かをえこひいきしているつもりはないでしょう。でも、無意識のうち、一番下の末っ子を甘やかしてしまうこともあたりませんか？

なので、こういった誤解を解消し、全ての子にえこひいきをしているのではないという気持ちを示すためには、「お前の事もしっかり見ているよ」というメッセージを、子どもたち一人一人に伝えることが大切だと思います。それがしっかり伝われば、兄弟みな不公平には感じないでしょう。

たとえば毎週1回、お子さんたち一人一人に「お父さんと過ごす2時間」「お母さんと過ごす2時間」を設けてみてはいかがでしょうか？ この2時間は「おしゃべり」や「散歩」、「ショッピングに出かける」など、どんなことをしてもよいでしょう。



毎週、お父さんと向き合う時間を2時間、お母さんと向き合う時間を2時間持ってあげれば、「自分はしっかり見てもらえている」という“自信”もできることでしょ。

その自信とは、「子ども一人一人が親から愛された対等な関係である」という自信ではないでしょうか。



「クイズを解く前に答えを見ちゃだめだよ〜」